

研究実施のお知らせ

2026年2月12日 ver.1.0

研究課題名

ドライバー遺伝子変異陰性転移・再発非小細胞肺癌における腫大リンパ節径と免疫チェックポイント阻害薬治療効果との関連—単施設後ろ向き観察研究—

研究の対象となる方

2017年2月から2026年1月の間に島根大学医学部附属病院で肺癌と診断され、一次治療として免疫チェックポイント阻害薬を使用したドライバー遺伝子変異陰性の転移・再発非小細胞肺癌の方

研究の目的・意義

免疫チェックポイント阻害薬の治療効果と転移リンパ節の大きさとの関連を検討し、免疫チェックポイント阻害薬が有効となりやすい患者集団の特定を目的として診療データを後ろ向きに解析し、治療強度の最適化をおこなうことで対象者の負担軽減に寄与することができると考えています。

研究の方法

2017年2月から2026年1月の間に上記治療を受けられた患者さんを診療記録から抽出します。年齢、性別、PS、Body mass index、組織型、TNM分類・病期、PD-L1発現割合、喫煙歴、転移部位、腫瘍径、がん治療歴、転帰、最終転帰日、血液検査値などの臨床データをカルテから収集します。収集した情報は、氏名、患者IDを削除し、島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科に集約し、外部から容易にアクセスできない状態で保管します。研究成果を学会や学術雑誌で公開する場合がありますが個人が特定できない状態で行います。免疫チェックポイント阻害薬の治療効果と転移リンパ節の大きさとの関連を検討し、免疫チェックポイント阻害薬が有効となりやすい患者集団の特定を目的とします。転移リンパ節の大きさ以外にも予後良好または不良となる因子の特定も行います。

研究の期間

2026年3月31日～2031年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学
奥野 峰苗

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：奥野 峰苗

島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学／附属病院呼吸器・化学療法内科
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581